



農業女子プロジェクト 第6期に向けたアンケート調査結果の概要

1. アンケート期間 2018年9月5日～9月26日

2. 回答状況

メンバー数 (9月時点)	有効回答数	回答率 (%)
706	415	58.8%

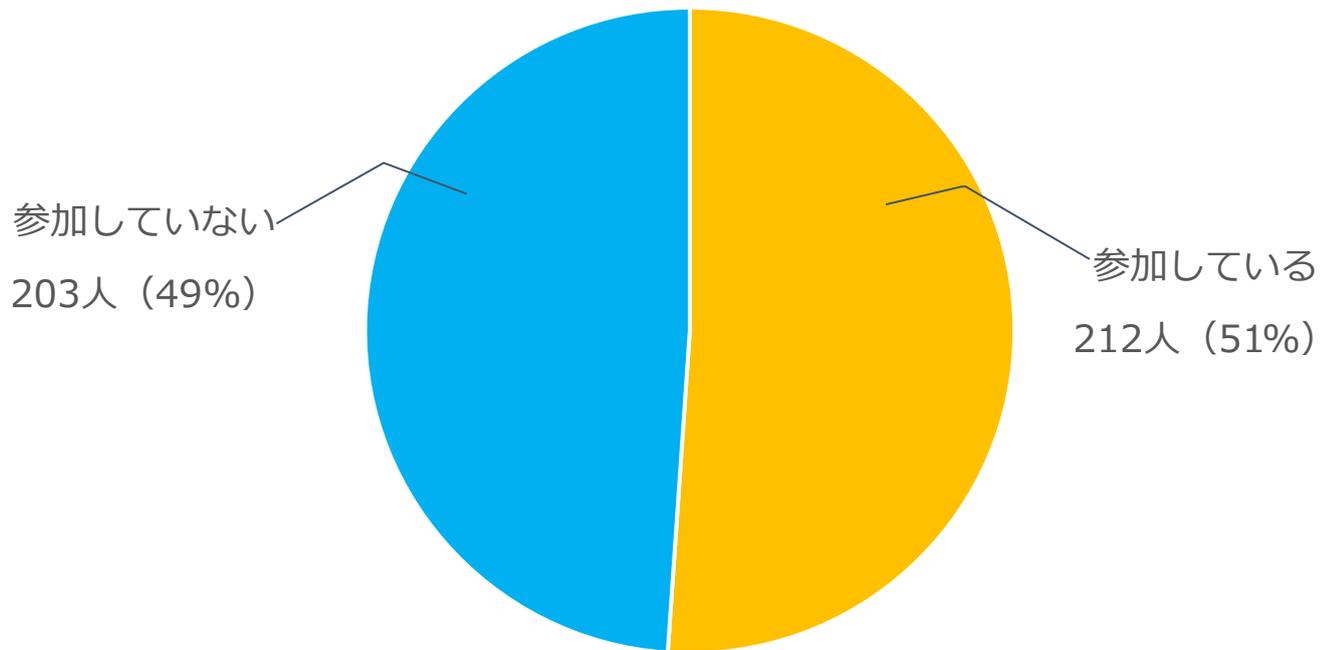
【地区別内訳】

北海道・東北	95	51	53.7%
関東	229	161	70.3%
北陸	39	23	59.0%
東海	58	39	67.2%
近畿	67	27	40.3%
中国四国	113	55	48.7%
九州・沖縄	105	59	56.2%

2018年10月末現在

農林水産省農業女子プロジェクト事務局

地域グループへの参加状況  
(アンケート回答415人中)

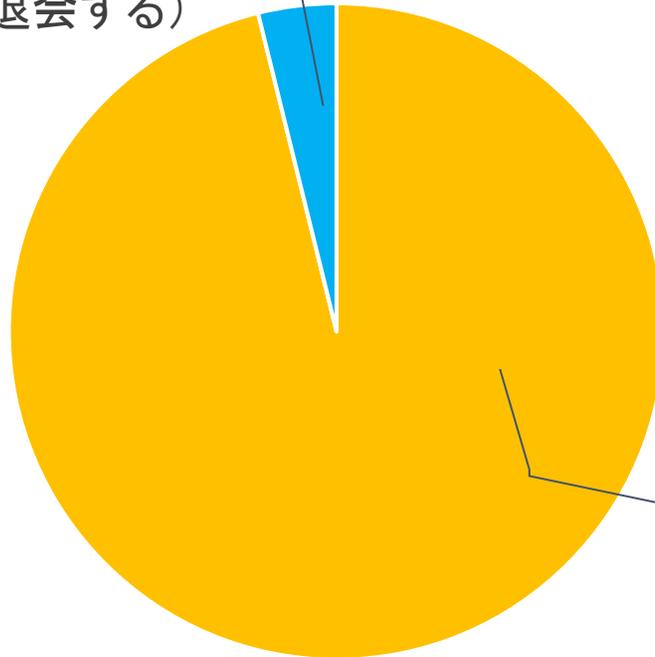


▼参加していない理由

選択項目	回答数
グループがない	119
参加したくない	17
未回答	67
総計	203

Q1. 2018年11月以降も農業女子プロジェクトへの参加を継続しますか？

継続しない(退会する)  
4%



継続する  
96%

▼継続しない(退会する)理由

時間を確保することが難しい。

来年度からは経営に集中したい。

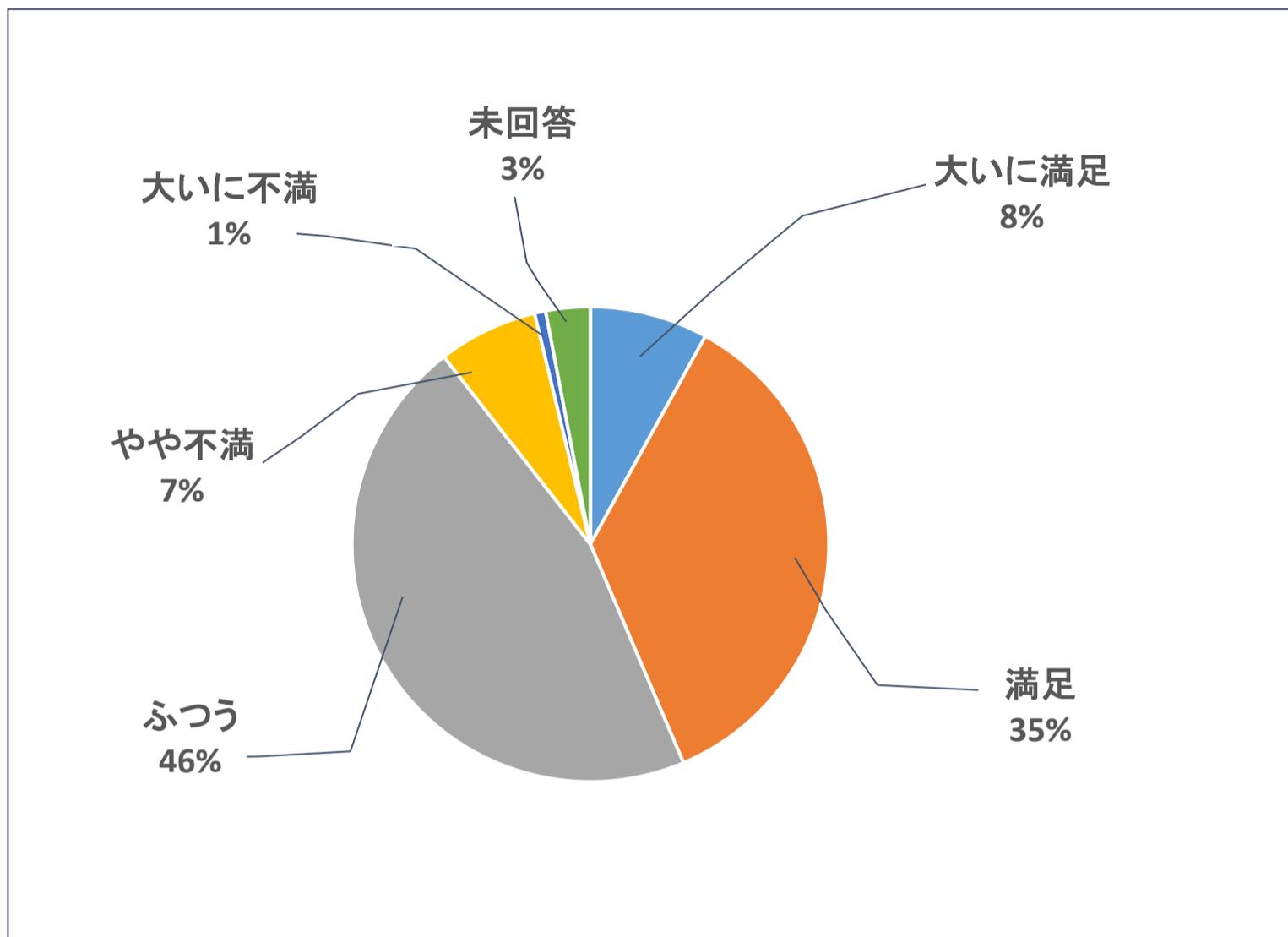
イベント等は関東方面が多く参加できない。

農業女子らしい活動をできていない。

参加したいと思うイベントや企業とのプロジェクトが無い。

離農している。

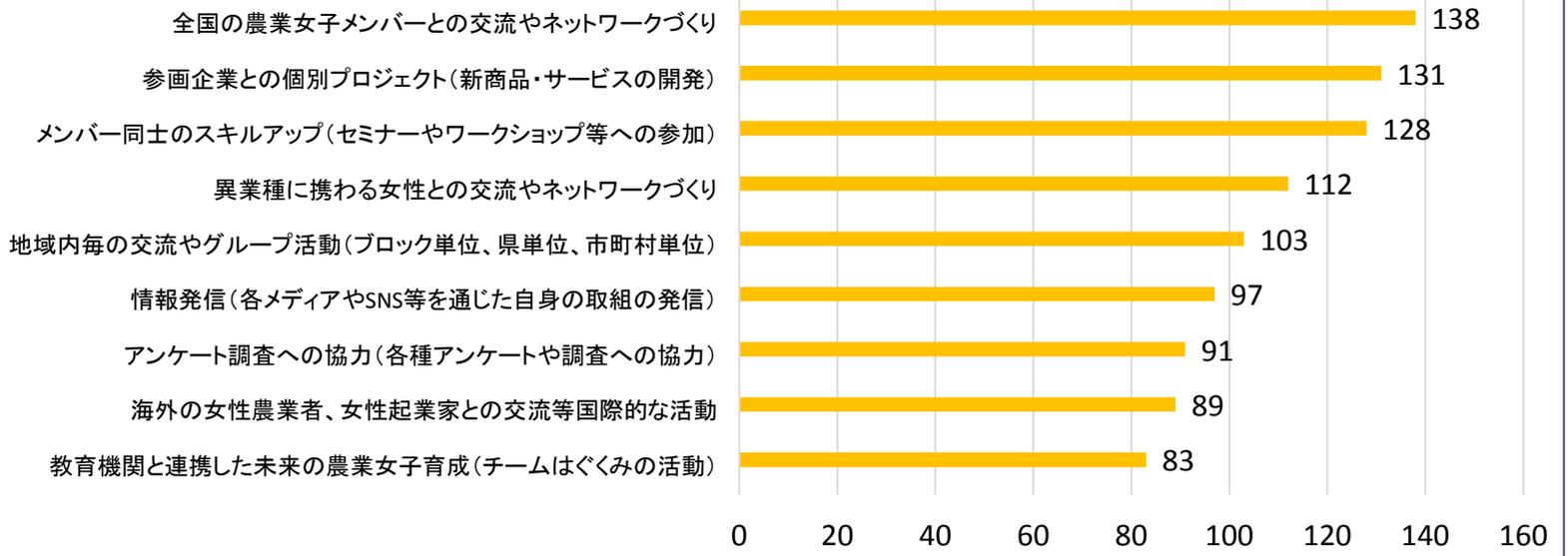
## Q2. 農業女子プロジェクトの活動に満足していますか？



### ▼「やや不満」、「大いに不満」と答えた方の理由

参加しづらい。
参加できる事がない。一人で農業経営をしている女子にもスポットをあてて欲しい。
子供が小さくて、なかなか参加できない。
沖縄で活動がないこと、遠隔地のためイベントに参加しづらい、協賛企業も畜産向きでない
近くにグループがあれば参加したい
生き物を飼っておりイベントやセミナー講習などに参加が難しい
都市部でのイベントが多い
もっと近距離(県や市)での組織構築やイベント企画をしていただきたい
土曜日、日曜日開催が嬉しいな
自分が参加しきれしていない
マッチングできるプロジェクトがあまりない(遠方)
参加できる内容のものがあまりない
私自身がなかなか参加できず、経営に活かせずにいる為
自分が何の活動にも参加できていないため
忙しい時期にいろいろあるのであまり参加できない。なんとなく、メールが見つからない
マルシェ、イベントなど都心開催が多く、なかなか農作業を抜けることができないのでまったく参加できていないことが不満
関東近県での活動に参加したくても、なかなか参加できないこと
子育てなどで外の活動に参加できない人へのフォローが不足している。マルシェなどに参加するにも郵送条件などを事前に案内メールに明記してくれないと参加の判断ができない。
なかなか参加できない
遠方の場合参加しにくい内容が多いため
セミナーが首都圏開催が多く、時間的に足を運べない
地方での取り組みが少ないです
自分の問題ですが、なかなか時間が取れず、Webベースでの活動にしか参加できない。
参加出来そうなものが見当たらない
東京での開催イベントが多い。地方でのイベントを増やしてほしい
全国のメンバーと交流をはかる場がなくなった
イベントや会議の殆どが東京の為、高額費用もかかるし参加が難しい

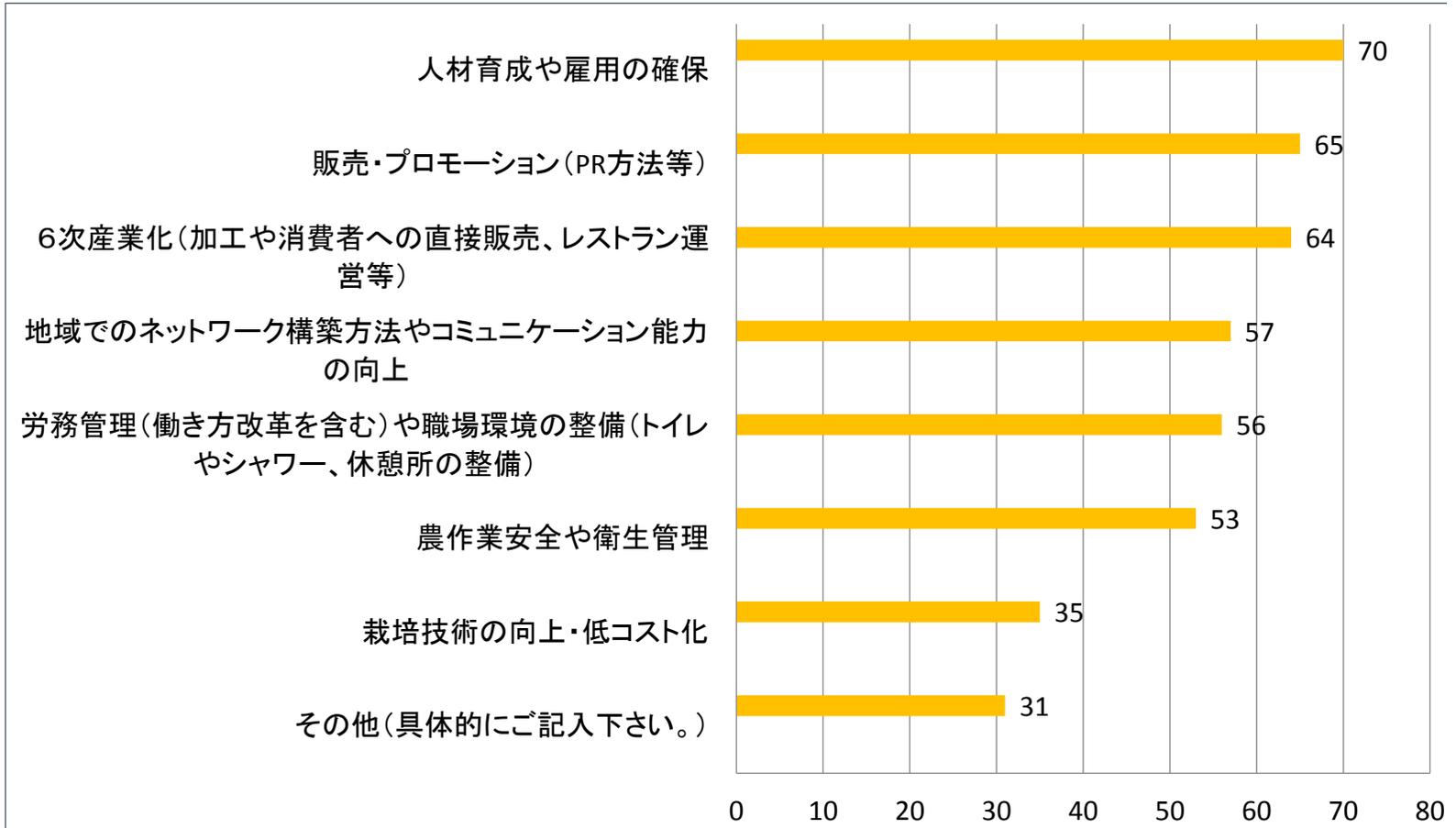
Q3.今後、農業女子プロジェクトで取り組んでいきたいことは何ですか？(複数回答)



▼Q3-2. 今後、取り組んでいきたいことについて、自由に記入願います。

6次産業化、加工品開発	子供や高齢者・障害者のワークショップ
休耕地を活用	農業女性の意識改革 農福連携による地域活性
がんばっている人や規模の大きな話を知ると刺激を受けます。	商品の開拓、販売等
小規模農業の生き残りに関する情報収集や交流	雇用確保、農業のIT化についての情報を色々知りたいです
農機具の開発	各エリア農業女子おもてなしツアー企画コンテストと投票及び実行など？
近場の方との交流	酪農教育ファームの資格取得、地元の企業・大学・消費者協会等との関わり作り
参加したいのですが…交流場が遠く中々参加できません、近場の交流チームをさがしたいです。	自社製品である干柿を今後も若い世代に知って食べていただけるように努力したい。また商品の生産量の安定を工夫したい。
農業経営のスキルアップセミナーや食育セミナーに興味がある。	農家として野菜を生かした料理を地域に提案していく
県外の方、他業種の方との積極的な交流、情報交換。	経営力をもっと身につけるための勉強がしたいです。
地域の女性に農業を職業と見てもらう事	常設マルシェ
消費者の意識改革	東京オリパラに向けて農業女子で何かやってみたい
参画企業との取り組みの中でも農業女子の野菜や加工品プレゼントなど、注文は大変ありがたいです。SNSでも発信しやすく、興味も持ってもらえると感じます。	育成も行いたいところですが、まず労働力不足解消の手段として、地域の育児中の主婦や高齢者等の都合の付く時間の活用を基本に、短時間の作業提供の仕組み作り、効率的労働ではなく、個人の充実した労働(託児所に子どもを預けて、パートで働かなくとも、子どもと一緒に働く、軽農作業。年金生活の収入の補い&何かの役に立っている感覚)農業をとうしてそんな感じのしくみづくりをして、常勤勤務でなくとも、労働力不足を解消させて、農業の魅力を感じ農産物を理解し、農業の応援者に繋がりたい。そんな感じの取り組み。本心は、国がそのような取り組みを打ち出して頂ければ、地域での活動が活発化するのになー！！と強く感じています。
まずは佐賀県の農業女子の方と地域を盛り上げるイベントなどに積極的に参加したいです。	
農福連携や発達障害や不登校の子供達への支援についての勉強や資格取得について	
メンバーでグループをつくり、年に1回は交流会をしたいしネットワークづくりしたい	新たな農業の仕事アピールをしたいです。
スキルアップに含まれる事項と思いますが他の農家さんや農業女子の栽培事例の視察や新品種の勉強会などに参加してみたい	そろそろ女性にこだわらない動きもしては？女性が変わっても、変わろうとしないパートナーによって心を砕かれている景色をしばしば見るから…
杏の品種改良	農業女子プロジェクトの紹介
インターンシップの受け入れと新卒者の採用	農業を仕事として若者が考えられるようにしたい
家族農業の働き方改革とワークライフバランス	各地の農業女子との交流
農機具の資格を取る講座	農業女子メンバーがそれぞれが活動を発展させていけるようなネットワーク作りと情報発信
新規就農して2年目なので、まずは栽培のスキルアップは勿論、6次産業にも目を向けて地元の方と何か出来ればと思っています。	農業者を育てる観点から、人材育成に取り組んで欲しい。すでに農業に従事している人の社会性やスキルアップをはかる活動を希望する
次世代に繋げる食育に興味があります。	農業女子での連携事業や商品開発、グループマルシェなど
キャリア教育	加工機器の情報、体験会
異業種とのコラボ。医療系など。	他の作物にも挑戦したい
東京ばかりではない企画。地域密着の農業経営をサポートする企画	アスリートフードマイスター以外でも資格を取り、農産品の普及に努めてまいりたく考えております。
再生可能エネルギーについてもっと学びたいです。	都市農業のブランド化
まず、県内若手女性グループを作りたい。そして輸出や六次化。	先進農家や、有機農家等様々な農法の視察ができたらいいと思います。
沖縄にも農業女子が沢山いるんですが、農業女子PJへの参加人数が少ないので、農業女子PJを知ってもらえるよう、活動していきたいです！	正直今自分がどの方向に進みたいのか迷走中です。そんな私の気持ちと同じ人がいるはず！そんな人達でもこんなことができるんだよーと1人では勇気なくできない人と一緒にイベントをしてみたいです。
4Hクラブとの連携、海外との繋がり	農業女子の癒しのイベント
時間を有効に使い、情報収集などをもっとして、いろんな活動にかかわれるようにしたい。	メンバーの生鮮・加工品の学校給食での利用が出来たら販路に悩む人達の助けになるのではないかと考えています。
地元密着型の本庄農業女子の活動をさらにパワーアップさせたい。地元産、県産の農産物の魅力を、まずは地元の方々に知ってもらえるような活動をしていきたい。	子どもの頃から、農業という仕事を身近に感じてもらいたい。教育の分野へ参加していきたいと思う。(園芸体験が情操教育という面からも重要) 小学校や中学校(技術では栽培の項目あり)で、全国の農家が地域の学校で実際に生徒たちと交流できることが理想！
熊本県で参加できる内容	農作業で、ラズベリーパイ等を使用する自作IoT推進
海外への販路拡大および、加工品のブラッシュアップ	技術力向上に関するプロジェクトがあれば参加したい
特に県内の農業女性との繋がりを強化していきたい	地域での食や農に関する活動、海外の女性農業者支援にとっても興味が有ります。

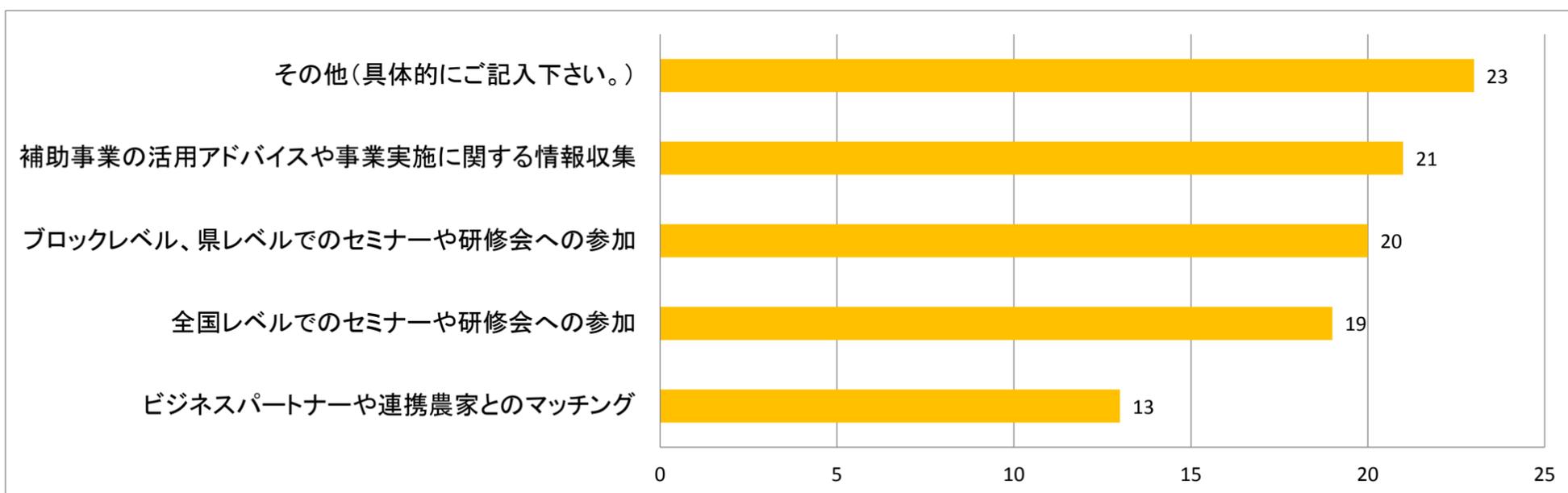
Q4.ご自身のスキルアップ・経営力向上に関して、どのようなことに関心がありますか？（複数回答）



▼Q4でその他を選んだ方の自由記入内容

教育ファーム活動
現在の会計以外の事務作業(毎月のデータ採取、1シーズンの作付表集計等)の更なる効率化、経常利益を維持したままの農園規模の拡大方法、災害対策(被災後のゴミ対策、運搬車両や資材の管理場所や方法改善等)
経理の事を勉強したい
農業を軸にした地域活性
農福連携や発達障害や不登校の子供達への支援についての勉強や資格取得について
成功されている経営者との交流会または勉強会。学び取ることはたくさんあると思いますが出逢うきっかけがないのでほしいです。
託児所の設置
次世代の人材育成のためのシステム作り。生産者の意識改革と消費者教育。
栽培した野菜や果樹の加工や料理の勉強
栽培履歴、経営管理等の事務作業の効率化。野菜の鮮度管理技術(販売まで、購入後とも)
イベント運営、集客方法
私が今、興味があるのは食育認定ファーム、子供達と農場の繋がりを作り理解を深める活動。
人材への指導の仕方、育て方。販売に必要な梱包やフライヤーのデザインとPR。
輸出
農業簿記の習得、経費の流れを見える化
経営の勉強等
6次産業化(酪農なので良質な堆肥作り・販売、有償の酪農体験・田舎暮らし体験(自分たちの暮らしに価値を見出す))
作業効率向上の研究
農家としてのノウハウなどを提案企画する料金の基準が知りたい
栽培計画の立て方、品種と土壌の特性とのマッチングなど
農業簿記
メディア露出
家事育児との両立
経営の勉強
地域リーダー育成

Q5.Q4のスキルアップ・経営力向上のためにどのようなことに取り組みたいですか。(複数回答)



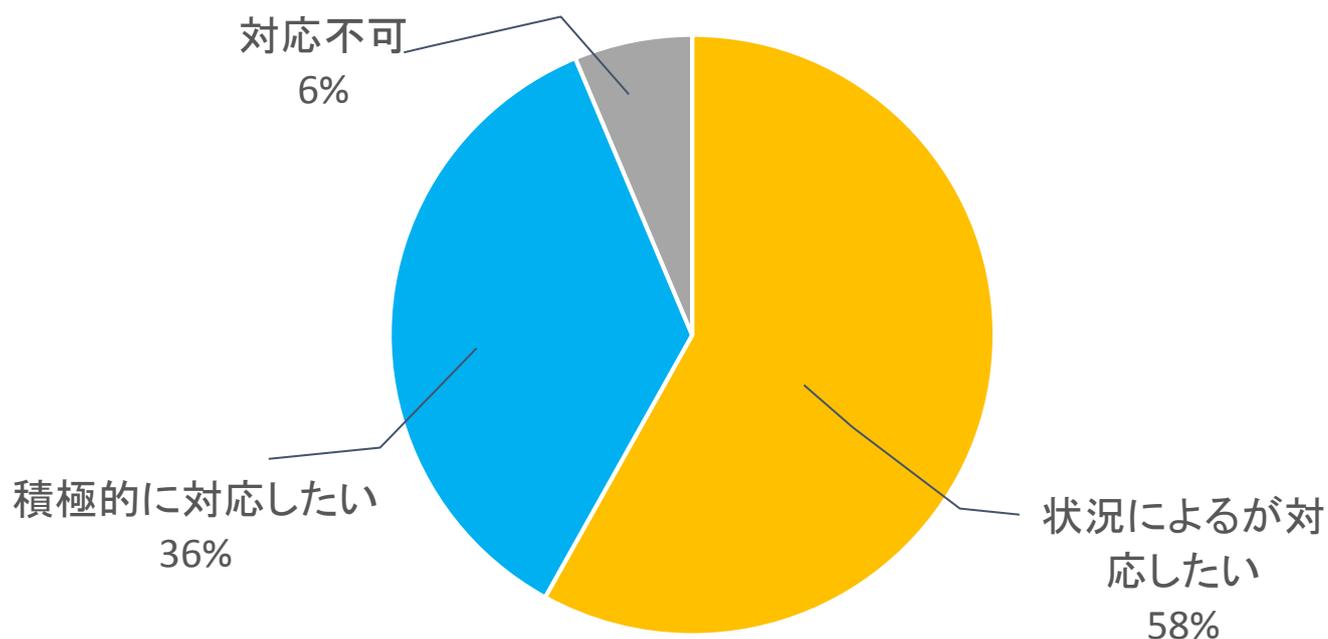
▼Q5でその他を選んだ方の自由記入内容	
web等を活用し、特別に割く時間を出来るだけ減らしたセミナーに参加	栽培研修会を定期開催してほしい
異業種の方々との交流	自主学習、農場HACCAPの取得
現在は、当農園に勤務して頂いているスタッフからの意見を重要視していますので、セミナー等の参加は考えていません。	断片的な情報研修のみではなく、スタート地点があるならば、ゴールまでのサポートして貰える取り組み。
行政、他産業、土業の方々などから指導頂きながら自身の経営で実践し、実行し、改善していくしかないかな～。	英会話
目標設定(長期目標、中期目標)、目標達成へのPDCAサイクル、投資(機械、設備、人材)と回収の考え方	新技術・新品種など新たな情報を継続的に得てスキルアップしたい
自学の支援	奈良県は技術関連の講習が皆無なのでお願いしたい
いちご栽培の最前線を知りたい	既に取り組んでいる農家への見学やスキルの提示
品質表示の書き方、新規商品の開発の際に考慮すべき事項について学びたいです。	食育認定ファーム研修。他業種との積極的な交流。
農福連携事業	実践的なネット活用や経営アドバイスの研修へ参加したいです。
全国レベルでのセミナーは理想ですが、なかなか参加できないので、pcを活用等ご検討下さい、	会計ソフトとExcelの更なる活用模索、次世代女性への上手な引継ぎ
無農薬、自然栽培における技術向上と共同での販路開拓、お店づくり、マルシェなどの業務協力、勉強会	やりたいことを同じように考えているメンバーとの交流

Q6.本プロジェクトでは、農業に従事しながら地方の方でも関心のあるテーマを共に学べるよう、SNSを活用した自主的勉強会「農業女子ラボ」(例 梅ラボ、輸出ラボ、グランピングラボ)を実施していますが、「農業女子ラボ」をご存じですか。

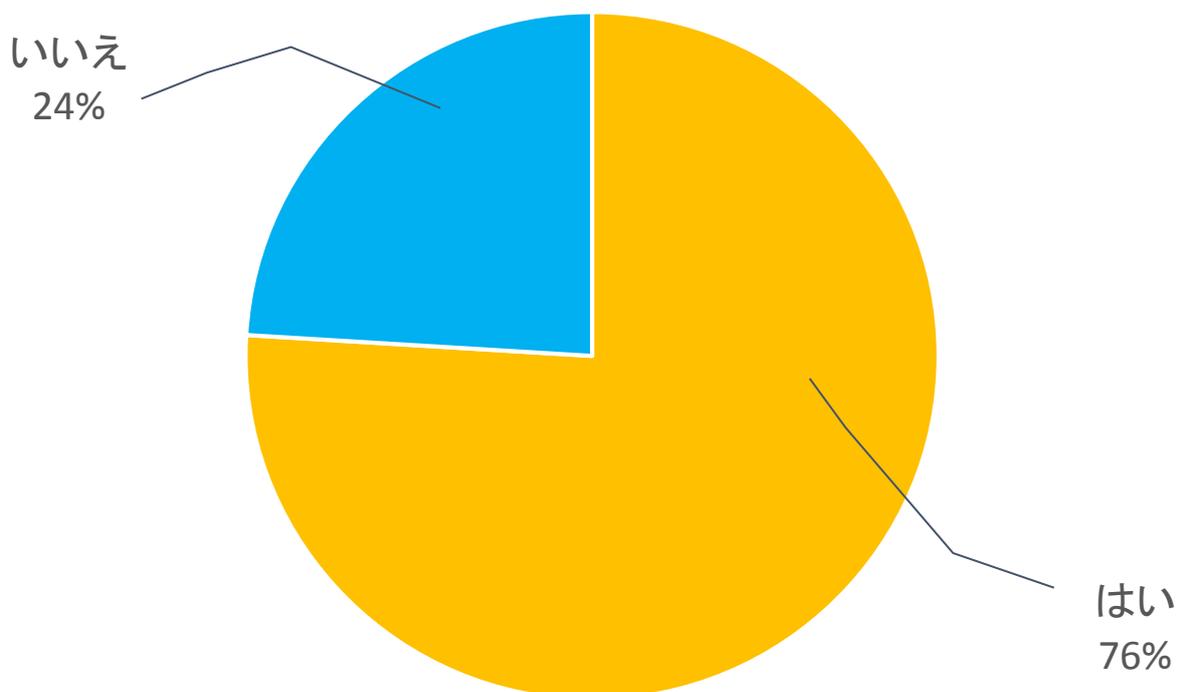
選択項目	回答人数
いいえ	259
はい	137
未回答	3
総計	399

▼今後取り組んでみたいラボのテーマ	
クラフトラボ	日本茶ラボ
起業、農業経営	ぶどうラボ
食育ファームラボ、栽培ラボ。	水稲(米)ラボ・雇用者確保ラボ
加工品ラボ	SNSの有効利用法、鳥獣害の情報交換 などあれば参加したいです
農業簿記ラボ	輸出
おむすびラボ 米ラボ	グランピングラボ
会社を守るための労務管理と優秀な人材の確保	無農薬自然栽培ラボ、国内外オーガニックレストランデータベースづくり
子供達への支援	まちづくりラボ
医療とのコラボ。地域の保健室のような役割を農空間で出来ないか挑戦してみたい	ディスプレイラボ(マルシェ等店頭販売での販促 心くすぐるPOP一言、型にはまらない飾り方、セット売り作戦等)、会計ソフトラボ(多品目を作られている方向けに、会計ソフト・Excelを連動して使える利益確認や野菜利益ランキング表の作り方等)
いちご	労務管理・販売力向上
米ラボ	食育
マルシェラボ?	農業ばかりで酪農がない
柑橘	いつも、食に関するテーマばかりで、花に関する事が無いのが残念
イベント農業女子ラボ	活用出来ることは覚えていきたい
独自の技術、裏技などの栽培談議が出来る生産向上がテーマ	防災
加工技術ラボ	都市農業ラボ
作業効率化、体に負担の少ない作業研究	イベントラボ(畑でのイベントの企画、広報等1人でも開催できるようにしたいです)
焼き畑農業	自作IoTの情報交換&自慢(お披露目)会

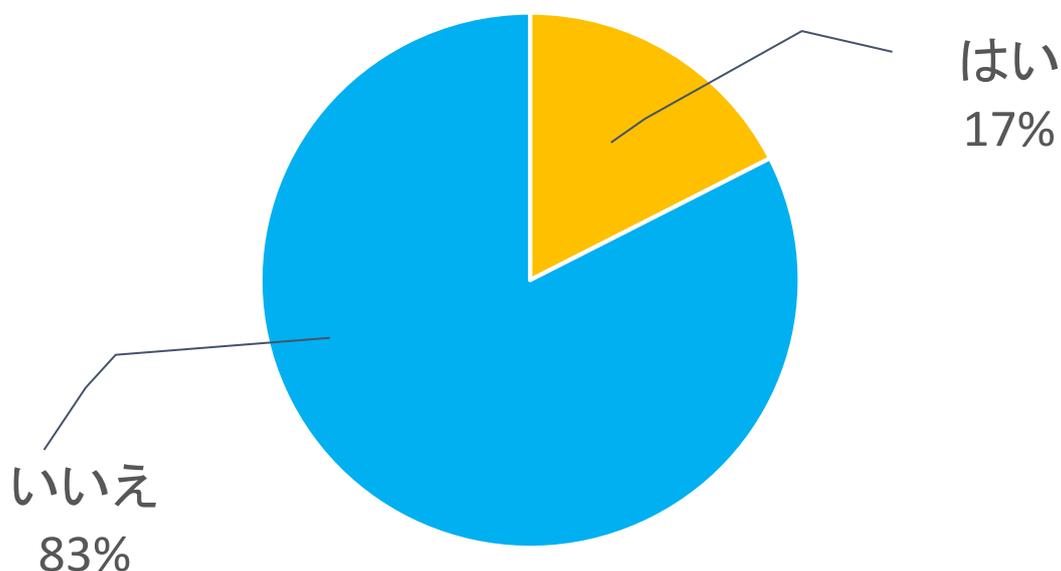
Q7.メディア(テレビや新聞、雑誌等)からの取材依頼に対応可能ですか？



Q8.11月から始まる第6期ではSDGs(国連の定めた持続可能な開発目標)をテーマに農業女子PJとして何が出来るか検討していきたいと考えています。「SDGs」×「農業女子PJ」の取組に関心がありますか。



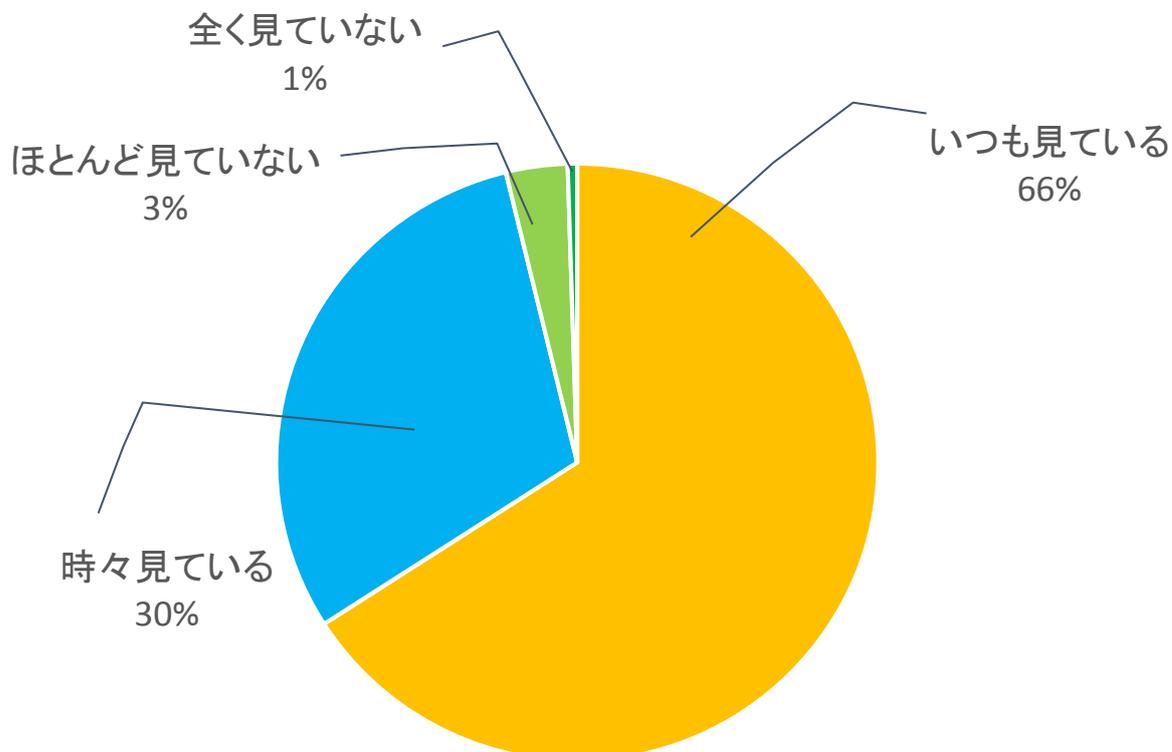
Q9.農業女子プロジェクトの公式HPでは、メンバーごとのマイページからプロフィールを更新したり、記事を作成することができます。過去1年間にマイページの更新あるいは記事を作成したことがありますか？



▼Q9で「いいえ」と答えた方の理由

法人なので、個人の判断で投稿してよいか判断が難しいし、アニマルウェルフェアの観点から、非難される可能性もある。	更新・投稿の方法が分からない
不特定多数の方に見える投稿をすると考えると、内容に制限があり、中途半端な内容になりがちで、つい更新をとどまってしまう	更新、投稿しようと思ったことがなかった。
入会して時間が浅いので。。これから徐々に。。	現在余裕がない。
投稿を思いついた時が外出先で、パスワードなどが手元になくそのままになってしまった。	公式HPは見ている方がどのくらいおられるのでしょうか？何かの役に立っているのか、誰かの為になっているのか、何かに貢献できているのか…迷いを感じ、時間を割いてアップしています。
投稿してもいいネタなのか迷いつつ、誰が見るんだこれと思いつつあげられていません	興味がいまいちわかない。
投稿したいと思うネタがない	ログインに必要なID・パスワードを紛失した
知らなかった	まだ本格的にSNSでの発信をしていないからです。
自分のレベルが低すぎて投稿することが難しい	まだ参加して間もない。台風等の影響で撮影できるものがないため
自分に余裕がなかった	パスワードを入れてもページに入れなかった
自分でHPを作成、更新しているから。	そこに意識をおいてなかった
自身のFacebookや他のSNSへの投稿で十分	うっかりしていました
自身のFacebookや他のSNSへの投稿で手一杯！	更新内容が適切か不明
時間があまりなく、優先順位が下の方なため	更新できることを忘れていた
最近IDをいただいた為、繁忙期が過ぎたら編集しようと思っていたところです	更新する勇気がない

**Q10.農業女子プロジェクト事務局からのメール(毎週水曜日配信)の閲覧状況を教えてください。**



Q10.「ほとんど見ていない」「全く見ていない」と答えた方の理由
そもそもパソコンや端末を立ち上げる時間がない
自分にとって必要な情報がない
内容が膨大で読み切れない
時間がある時と思えば回しになってしまい見れないときが多い
来ていなかったから
取引先とのメールを返す事に集中してしまう
しばらく忙しくてメールをよく確認できていなかった
目を通す心の余裕がない

Q11.農業女子プロジェクトの活動スタート5周年を記念し、皆様の思いを端的に表現し対外的にアピールするためのタグライン(キャッチフレーズ)案を事務局で作成しました。11月に予定している推進会議で発表します。最も良いと思うものを1つ選んで下さい。

タグライン	回答人数
A	105
B	117
C	174
総計	396

A.新たなチャレンジで新しい自分に出会う

B.未来は私達の手で  
私たちの手で農業の未来を創る

C.つなぐ、次世代に  
生産者と消費者をつなぐ  
食や農村風景を次世代につなぐ  
未来の担い手をはぐくむ  
持続可能な社会をつくる